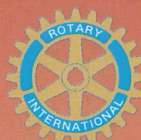




1996-97年度
国際ロータリーのテーマ



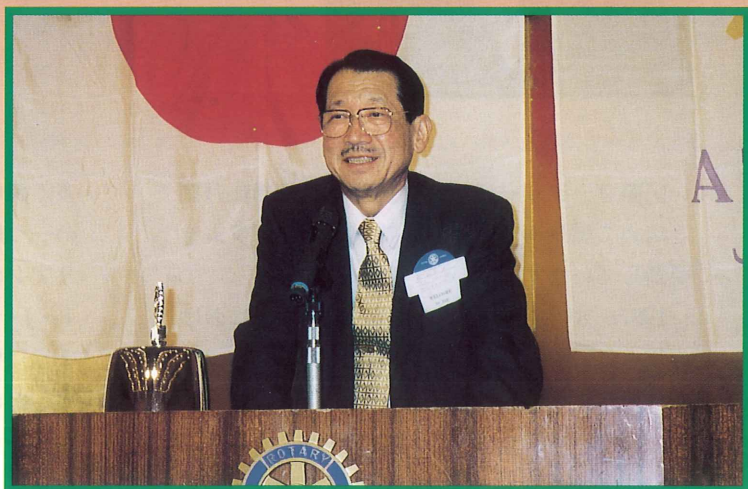
ROTARY INTERNATIONAL

クラブ会長
幹事殿控

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1996年9月20日 No.4

職業奉仕・米山月間 10月

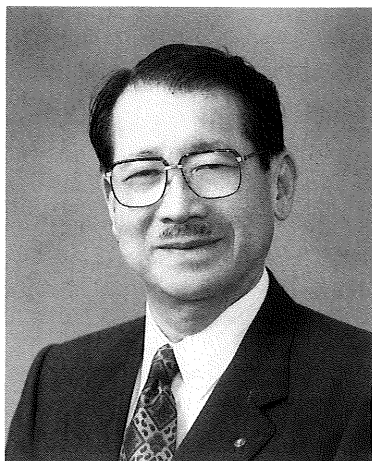


公式訪問での松本ガバナー



国際ロータリー第2760地区 ガバナー 松本 宏

〒475 愛知県半田市銀座本町1-1-1 半田商工会議所内 TEL0569-26-3800 FAX0569-26-3840



職業奉仕月間及び 米山月間に想う

1996～'97年度

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 松本 宏

国際ロータリーは、毎年10月を職業奉仕月間と定めて職業奉仕に関する特別のプログラムを要請しています。

1987-'88年度にRI理事会は「職業奉仕における新方針」を採択し、従来主に個人的なものとされてきた職業奉仕をクラブと会員個人双方の責任において行うべきものであるとしました。各クラブにとって、これまでの職業奉仕の実情を再検討し、会員の職場における道德水準を高めるための新しい企画をたてるのによい時機です。またあらゆる有用な職業の価値を認識し、地域社会のニーズにこたえるためにすべての会員の職業上の技能及び技術を活用するよう奨励すべきでしょう。

1989年規定審議会は、事業または専門職務に携わるロータリアンの「職業宣言」を採択し、ロータリーの綱領にうたわれている高い道德水準を保持するには、どのようにすべきかを具体的に明らかにしています。

ロータリーの歴史を振り返ってみますと、1910年ロータリー最初の大会で、シェルドンは、"he profits most who serves his fellows best"（最もよく仲間に奉仕する者は、最も多く報いられる）と云ったロータリアンとして有名です。後にこの言葉は短縮されて、"He profits Most Who Serves Best"（最もよく奉仕する者、最も

多く報いられる）となり、ロータリー公式標語の一つに採用されました。職場におけるロータリアンの役割に関する原則は、1932年、ハーバート・J・テラーが、倒産寸前の会社を救済するように要請され、その会社の経営指針として創案したのが「四つのテスト」でした。1950年からロータリアンは自分の事業と個人生活の両方における言行の尺度として、ほぼ50年にわたり、この「四つのテスト」を使用しています。

ポール・ハリスは「河の源流は、ただ一つの泉によるものではなく、幾百の溪流が、それぞれ山肌を流れて水路に注ぎ、水かさを増して大河を形成するに到るのだ」と、ロータリーの原点は、各ロータリアン個人の心の中にあることを示しています。そして各ロータリアンの心の高まりを具現するには、自己の職業を通じて奉仕することが根本であると教えています。

今日科学技術の驚異的発達、世界人口の急増、地球環境の破壊など世界的変貌の中で、ロータリアンは、それに対応し得る柔軟な思考と厳しい局面に対応できる姿勢と行動が求められています。

ルイス・ジアイRI会長は、1996-'97年度RIプログラムの一つとして「職業奉仕の質を高めることによって未来を築こう」を掲げられました。そして、その中で、専門職務と事業の世界にお



いて競争が激しさを増し、そのため難題が生じていますが、ロータリアンは、次の世代にこの難題に迎えていけるよう準備させるために献身して、ロータリーの哲学が示す正道は、私たちの製品、またサービスの品質維持にあたり、質の高水準追求を専門職務分野におけるロータリーのトレードマークとすべきであると述べられています。そして

- (1) 質の高さで優位を求めましょう。
- (2) 若い人が価値ある職業を選べるように指導しましょう。
- (3) 若者達のために雇用の機会を見つけましょう。
- (4) 誠実な仕事を称揚し、これに感謝いたしましょう。
- (5) あなたのロータリー・プログラムと情報を強化し、専門職務の質を高めるために最新の技術を使いましょう。

の5項目につき協力を要請されています。

私はガバナーとして、7月に入り地区内各クラブを公式訪問し、職業奉仕の質を高めることに協力を要請しておりますが、各クラブでそれぞれ、地域のニーズに合った職業奉仕活動を計画されて、その実践に向けて努力されている姿勢に接して、心から敬服いたして居ります。

次に10月は米山月間でもあります。当地区にも多くの米山奨学生がおられます。財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、国際理解と親善を深めるために、全日本のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給、援助する民間最大の奨学団体であります。

この事業は、日本最初のロータリー・クラブを創立された米山梅吉氏の功績を記念して、東京RCが1953年に創設した「米山基金」から始まり、1956年国内全クラブの合同事業として「ロータリー米山奨学委員会」が結成され、全国的な組織となりました。次いで1967年、財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されて、今日に到っております。

当2760地区では、毎年大勢の応募者があり、本年度は、その中から44名を奨学生として、お世話することになっています。彼等は皆優秀な学生ばかりで、将来は自国の中心的人物として活躍され、国際理解と親善に寄与されるものと推察されます。

今後とも米山奨学会に対して、会員各位の深いご理解とご協力をお願い申し上げる次第でございます。

アジア地域大会へのお誘い

10月25日～27日 ◆タイ・バンコク

ロータリーの地域大会は、国際大会（世界大会）に参加しにくい地域のロータリアンのために開催されてきたもので、1987年10月インド・ニューデリーで10,501人参加との記録が残っていますが、その後は久しく開催されていません。このたびの開催国、タイ国は、国王陛下が50年という長い在位で、それを祝う年にバンコクでアジア地域大会が開かれることも意義深いことであります。

＜地域大会の意義＞

- 1、その地域におけるロータリアンを通じての親善友好の実を挙げる。
- 2、その地域内における情報交換。
- 3、地域社会に対するロータリーの奉仕活動の進展を図る。
- 4、R.I.のその年度の指導要項の徹底化。

訂正 月信3号の青少年活動月間は、新年度から、「新世代のための月間」と改称（1996年2月の理事会で）されました。ここに印刷ミスをお詫び申し上げます。

職業奉仕月間にちなみ



地区職業奉仕委員会
委員長 岡本 纓二

“職業奉仕月間”はRI指定の特別月間であることはご存じのとおりですが、どうして10月に指定されているのか特に意味はないそうです。

1987～’89年にかけて「職業奉仕に関する声明」および「職業宣言」がRIで採択されてから、“職業奉仕”に関する諸説が耳・眼に入り大変気になっています。あまり気にすることはなくとも考えられますが、今迄になく強い反発の諸説なので、私の手元にある資料から、簡単に述べるのは困難ですが羅列してみます。

◇職業奉仕と決議23-34

ロータリーの職業奉仕とは、個人奉仕を基本としている哲学思想としての職業奉仕であると。そして理論と実践という、考えるロータリー、行動するロータリーと車の両輪のように調和の中に動かしてゆくのがロータリーであると、長いあいだ私たちは教わってきた。また、ロータリーは一つの人生哲学であり、利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情の間に常に存在する矛盾を和げようとするもの、この哲学が奉仕「超我の奉仕」の哲学である、と大変難しく感じるが教わってきた。1978～’79年度、3H（保健・飢餓・人道問題）計画が発足した頃から、従来の「ロータリー活動はロータリアン一人一人の主体性に基く」と言う大方針が転換し始めたようです。

◇1987～’88年度RI理事会が採択した『職業奉仕に関する声明』が登場し、1987～’88年度RI会長チャールズC.ケラーは“職業奉仕は、クラブ・会員両方の責務である”と声明して、焦点を変えて再定義した。「友」1987年10月に「職業奉仕

月間に思う」の中での発言に、今なお議論されている内容がある。これに触れる紙数がないのが残念です。1989年2月の「友」にはガバナー座談会「新しい時代の新しい職業奉仕観とは」あるいは1990年4月「友」同じく「職業奉仕の新方針と職業宣言—その意味するところは何か」では、かなり痛烈な反論がみられる。例えば“あまりウイサープ重視の方向にいくのは、ロータリー本来の考え方、哲学をゆがめることになりはしないか。ロータリーは、基本的には個人個人が「人生をいかに生くべきか」を学ぶところと思っています。”あるいは“新方針に基く小委員会を設けたクラブは2～3しかなかった”などなどです。

◇このように見てくると、1987～’88年度RI会長チャールズC.ケラーが再定義したこと、および「職業奉仕月間に思う」での発言に対する意外なほどの反論がわかる。おおざっぱに言えば、「RI・地区・クラブが主導的であるのに反し、個人としての会員の立場が受動的のようになったことはおかしい」ということです。勿論、ロータリーは時代とともに変わるという大前提をふまえての意見だと思います。

◇1956年RI理事会「業務を通じての奉仕」1978年RI理事会「職業による奉仕」（理42-43）Service Through Businessというのは1984年手続要覧から脱落・削除されたそうです。しかし、これは現在でも「職業奉仕」について語る時よく引用され大変よい言葉とされています。

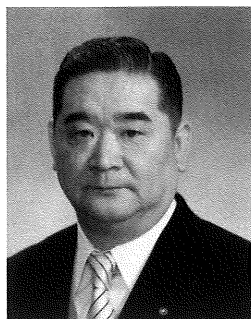
◇職業分類の原則は正会員を一業種一人と制限するのがロータリーの特徴で、この原則から、「職業奉仕」が発展したと言われています。

◇1915年「ロータリーの道徳律」全11ヶ条がサンフランシスコ年次大会で採択されて、「職業奉仕」の原点といわれましたが、キリスト教的背景が強いということで1951年に手続要覧から削除されている。この11ヶ条を5ヶ条に纏めた「大連RCのロータリー宣言」は大変素晴らしいと言われたが残念ながら消滅しました。

◇職業奉仕に関する歴史的経過と昨今の動向を抜粋してみました。



米山記念奨学会報告



理事 田中 徹

日ごろロータリアン各位並びにクラブには格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。地区の現況と理事会決定事項についてご報告申し上げます。

1、1996～97年度の地区奨学生数

Y奨学生 新規22 継続8 ……30名
 DisY-B奨学生 新規6 継続3 ……9名
 CY奨学生 Y……2 DisY-B 2 ……4名
 SY-OB ……………1名
 計 44名

※全地区の奨学生総数999名

2、寄付金納入状況(1995年7月～1996年6月)

普通寄付 20,710,500円
 特別寄付 73,298,605円
 計 94,009,105円

会員1人当り 15,152円

※参考 2600地区(長野) 20,348円
 2630地区(岐阜・三重)
 14,576円

3、表彰制度が変わります

表彰制度に費やす経費を節減して少しでも多くの奨学生が採用できるようにという意見が多数寄せられ、理事会で検討を重ね本年7月1日より以下の如く改訂されました。

ご異論もありませんかと存じますが奨学生優先と云うことで新制度にご賛同下さい。

4、米山記念奨学会の地区活動費について

奨学生のためのオリエンテーション、カウンセラーとの懇談会、見学会、指導教官への感謝の夕べ、送別会等の費用(奨学生1人5万円×人数)は今まで地区理事に送金され収支報告も同理事が行って参りましたが本年度よりガバナー宛に送金されガバナーは特別会計として理事と相談の上処理することに変更されました。

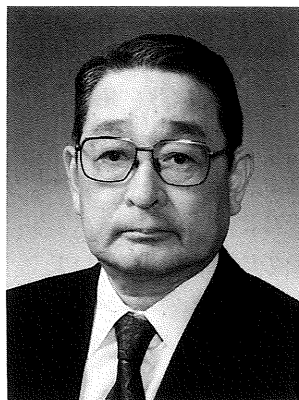
5、米山奨学生学友会の新設について

当地区の元米山奨学生を中心に学友会を新設する話があり研究して参りました。現在11の学友会が結成されていますが当地区でも年度内に発足したいと準備中です。

かつて当地区で米山奨学生であった方の動向、住所、近況についてご存知の方は情報をお寄せ下さい。

連絡先 〒475 半田市上池町5-44-4
 加藤凱也(地区米山奨学会委員)
 TEL0569-29-3131(自宅)
 TEL0569-22-3111(ツカサ工業専務)

	表彰品	旧表彰制度	新表彰制度		表彰品	旧表彰制度	新表彰制度
米山功労者	メダル	銅メダル～七宝メダル	銅メダル(第1回目のみ) 第1回目のみメダル、楯 第2回目、革製ファイルと感謝状 第3回目以降感謝状のみ 第1回目のみ	米山ファンデーション	メダル	有	無 功労者ファイルより小さい ビニール製ファイルと感謝状
	楯 略章 表彰状	有 有 有(地区大会)	無 無	米山功労者特別入	略章	有	無
米山功労クラブ	メダル	銅メダル～七宝メダル	無 第1回目、革製ファイルと感謝状 第2回目以降感謝状のみ	米山功労者特別入	感謝状	有	感謝状
	楯 表彰状	有 有(地区大会)	無 無	達成クラブ	特別製楯	有(地区大会)	有(地区大会)
					感謝状	1千万達成ご感謝状 有	1千万達成ご感謝状 有



米山月間を迎えて

地区米山記念奨学会

委員長 小田 公平

日頃は、地区会員の皆様には大変お世話になっております。厚くお礼申し上げます。本年の5月12日に開催されました地区協議会第八分科会に於いて各クラブの米山奨学会委員長さんには、財団法人ロータリー米山記念奨学会の意義、目的、組織についてくわしくご説明申し上げ、参考資料をお渡しいたしました。

更に9月21日のカウンセラー会議と奨学生との懇談会、続いて9月27日の地区米山奨学会委員長会議では、平成7年度の事業報告書にもとづいて、米山奨学会の活動、カウンセラーの役割等について充分にご理解を得ておりますので、米山月間でクラブの米山奨学会委員長さんより詳細に報告される事と思います。又ロータリーの友10月号にも詳細なデータが報告されておりますのでぜひご一読される事をおすすめいたします。

さて、平成7年度の事業報告書の内、ごく重要事項のみ簡単にご報告申し上げます。先ずこの報告書は各クラブに米山奨学会の本部より5部ずつ9月20日頃に送付されます。(会長、幹事、米山委員長、国際奉仕委員長及びクラブ控の5部となっています。)

ご承知の通り(財)ロータリー米山記念奨学会は、日本ロータリー創設者である米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブが1953年250万円の米山基金によって、海外より大学生2名を招致し、2年間の奨学金を支給し、勉学と国際理解の促進に資することを目的に発足、以来年々この事業は全国的に発展、1956年全国

ロータリークラブの共同事業「ロータリー米山奨学会」として全国組織となった。更に1967年文部省の認可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会(基本金3千万円)の設立となり、1996年1月現在基本金は46億、特別積立金40億、奨学生数は現在1000名という日本最大の民間奨学会となっています。

又平成7年度の米山奨学会への普通寄付金は4億9千9百万円、前年比4.6%増、特別寄付金は15億6千万円、前年比0.6%増、合計20億5千9百万円、前年比1.6%増と、残念ながら特別寄付金の減少により前年にくらべ増加率が大巾に落ち込み低調に推移いたしました。

一方当地区の状況は、普通寄付金は2千71万円、5.9%増、特別寄付金は7千2百30万円、4%増、合計9千4百1万円、4.4%増と久し振りに普通、特別共に増加となりました。

又地区目標寄付1人当たり1万5千円に対しても、1万5千152円と達成する事が出来ました。地区内のロータリアンの皆様方のご厚情、ご協力に厚くお礼申し上げます。

本年度もこの増加傾向を持続出来る様に地区目標を普通寄付4千円、特別寄付を加え一人当たり1万5千円とし、ぜひ達成したいと存じますので一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



特別寄付報告書（1996年7月分）

財団法人 ロータリー米山記念奨学会

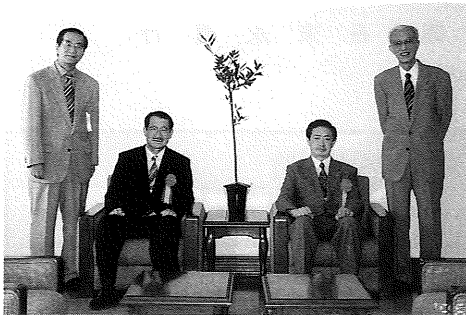
理事長 末 永 直 行

2760地区

クラブ名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合 計	件数
あ ま	0	200,000	0	200,000	4 件
渥 美	60,000	0	0	60,000	1 件
知 立	0	30,000	0	30,000	1 件
半 田	0	300,000	0	300,000	1 件
東 知 多	13,020	0	0	13,020	1 件
一 宮	0	300,000	0	300,000	1 件
名古屋名駅	0	30,000	0	30,000	1 件
名古屋名南	0	300,000	0	300,000	1 件
名古屋名東	0	300,000	0	300,000	1 件
名 古 屋 港	0	150,000	0	150,000	1 件
名古屋瑞穂	0	720,000	0	720,000	24件
名 古 屋 西	0	30,000	0	30,000	1 件
名古屋西南	0	30,000	0	30,000	1 件
西 春 日 井	39,847	0	0	39,847	1 件
岡 崎	0	100,000	0	100,000	10件
岡 崎 東	9,563	90,000	0	99,563	4 件
岡崎城南	0	50,000	0	50,000	1 件
岡 崎 南	0	300,000	0	300,000	23件
高 浜	1,510	0	0	1,510	1 件
豊 橋 北	0	80,000	0	80,000	2 件
豊 橋 南	0	20,000	0	20,000	1 件
豊山城北	300,000	0	0	300,000	1 件
津 島	0	930,000	0	930,000	4 件
計	423,940	3,960,000	0	4,383,940	

公式訪問だより

●一宮ロータリークラブ



- 平成8年8月1日(木)
- 一宮商工会議所
- 会 長 近藤和夫
- 幹 事 加藤恭平
- 会員数 92名

基本方針 ロータリーの原点は親睦と奉仕の座標の上に成り立っております。その座標軸にたつて私たちの足下をしっかりと見つめよう。

おりしもポール・ハリス歿後50周年を迎え創始者の想いを心として、今一度ロータリーの原点を見直そう、未来を築く第一歩としよう。

またアジア諸国の留学生の問題に視座を据えI.M.のテーマに挑戦しよう。(写真は「ポール・ハリスの樹」を囲んで)

●名古屋北ロータリークラブ



- 平成8年8月2日(金)
- 名古屋東急ホテル
- 会 長 柴田壽良
- 幹 事 黒田忠嘉
- 会員数 115名

当クラブは、1959年チャーターと市内で4番目に古い伝統を持ち、チャーター時23名の会員数が現在では119名と拡張を続けております。会員の平均年齢は約62才と少々高くなっておりますが、例会、委員会、友の会、家族会、干支の会等を通じて、新旧会員の融和が計られ、奉仕活動特に青少年奉仕を活発に行っています。

●豊橋南ロータリークラブ



- 平成8年8月5日(月)
- 豊橋グランドホテル
- 会 長 足立健一
- 幹 事 河合秀矩
- 会員数 68名

昨年度30周年の記念事業として豊橋東RCを拡大した歴史あるクラブですが、急な拡大の為に一挙に22名減となりましたが、本年31年目を初年度の心構えで、「新たな芽、活力」をテーマとして会員増強を最重点として、会員の若返りを計る熱意を持った親睦をモットーにし、気軽にメーキャップの出来る雰囲気クラブです。

●名古屋名東ロータリークラブ

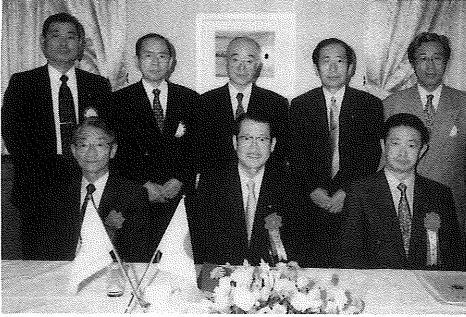


- 平成8年8月6日(火)
- 名古屋国際ホテル
- 会 長 北村正和
- 幹 事 太田 暹
- 会員数 84名

当クラブは創立19年。来期20周年を迎えます。
9年5月24日(土)1997～'98年度のための地区協議会開催のホストを引受け、準備中です。
単独継続事業として以下3件があります。
・第10回を迎えます、名東区小中学校連合音楽会が10月29日厚生年金会館で開催。
・第6回を迎えます、長久手招待少年サッカー大会、ミニバスケットボール大会の後援。8月3日4日開催。
・昨年インターアクトクラブをテレトリ内千種高校で単独発足活躍中。

公式訪問だより

●名古屋名北ロータリークラブ



●平成8年8月7日(水)

●名古屋不二パークホテル

●会 長 遠藤友彦^{ゆうげん}

●幹 事 山田峰男

●会員数 67名

私たちのクラブは前年度、創立15周年を記念して、名古屋錦ロータリークラブを出産し、いささか瘦せた。本年度は、みんなが健康でロータリーライフを楽しみ、各自の職業奉仕に怠りなく、体力の回復に務めたい。クラブテーマは「喫茶去」である。茶を汲みあい一層の親睦を深め、地区ターゲット「実践するロータリープラス1」を会員増強にしばる。

●名古屋大須ロータリークラブ



●平成8年8月8日(木)

●プリンセスガーデンホテル

●会 長 横内 恭

●幹 事 吉田隆彦

●会員数 96名

クラブ活動方針

今年度の重点活動は①職業奉仕として高校生の企業研修計画②社会奉仕として献血③若い世代との対話を深めるなど。このうち高校生研修を「オープン・デスク」と名づけ、名古屋市内の高校と提携して、年内に希望を開き具体化する。また交換学生や奨学生の派遣・受入れに力を入れているが、近く留学経験者を中心に、次世代の役割や展望を話し合う。

●西尾KIRARAロータリークラブ



●平成8年8月9日(金)

●西尾信用金庫中央支店

●会 長 小島正美

●幹 事 斎藤喬甫

●会員数 70名

六年目を迎えた我クラブは、平均年齢50才と企業でも働き盛りの69名で構成されている為例会出席率がやや低く、本年度はホームクラブの出席率向上を目ざし食事の見直し、例会のタイムスケジュールの検討、又結婚記念日には第一例会で奥様同伴出席し、結婚記念日を全員で祝福する等楽しいクラブ創りを計画しました。おかげで7月度は100%の出席率を達成出来ました。

●名古屋中ロータリークラブ



●平成8年8月19日(月)

●名古屋観光ホテル

●会 長 石突吉持

●幹 事 大脇 始

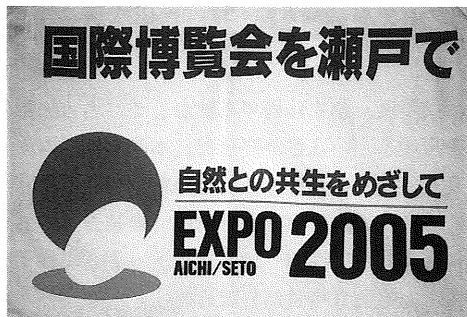
●会員数 160名

中RCは、25周年記念事業、フォーラム2005など多くの業績が残されております。本年度は、ロータリアンの間の繋りを重視し、優雅な雰囲気を作り出すことに目を向けていきたいと考えており、次の2点を目標に掲げます。

- 1) 中ロータリアンの文化的、知的生活の再認識。
- 2) 奉仕活動を通しての節度ある指導層の再構築。

公式訪問だより

●瀬戸北ロータリークラブ

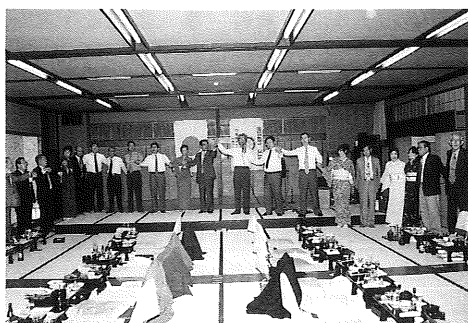


- 平成8年8月20日(火)
- 瀬戸商工会議所
- 会長 柴田 伸
- 幹事 加藤 仁
- 会員数 78名

瀬戸市は西暦2005年に開催される国際博覧会に立候補しております。この実現のために当クラブは積極的に誘致運動に協力しております。

今年11月にはBIE（国際博覧会協会）の現地視察が予定され、そして来年6月の最終決定まで瀬戸ロータリークラブと力をあわせこの運動の盛り上げに努力します。

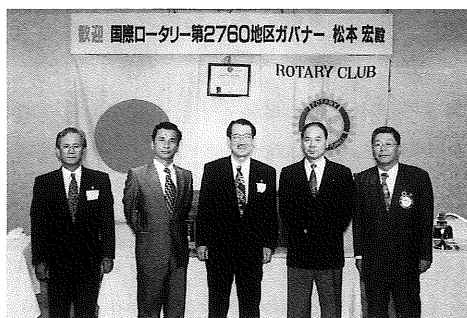
●尾張中央ロータリークラブ



- 平成8年8月21日(水)
- 東海銀行西春支店
- 会長 赤堀博宣
- 幹事 石川雄昭
- 会員数 50名

会員数50名と均衡がとれ、まとまりのあるクラブです。クラブ奉仕部門以外の奉仕活動をニコボックスに依存するも、その活動は積極的で青少年、環境問題では地域密着の適時な問題を取り上げ講演会を企画している。又会員相互は和と親睦を旨とし、IDM、夫人同伴夜間例会、年末、春の家族会では多数の会員、家族の参加がある。

●岡崎東ロータリークラブ



- 平成8年8月22日(木)
- 名鉄岡崎ホテル
- 会長 永田和氏
- 幹事 橋本義紀
- 会員数 83名

今年度の目標 会員増強、親睦。会員増強は8月末で既に8名入会、親睦では、夜間例会5回を行う。又ガバナー方針「実践するロータリープラス1」に当クラブではRCCに取り組み英訳中です。「心」と「頭」が会長としての目標であり、気がつかない所で社会に奉仕をし、人に優しく美しい心で奉仕活動を進めたい。

●一宮北ロータリークラブ



- 平成8年8月23日(金)
- 一宮商工会議所
- 会長 広瀬国忠
- 幹事 水野輝雄
- 会員数 85名

創立34年の歴史に裏打ちされた、和の保たれた、品位と楽しい雰囲気のある毎例会を行っております。

本年度の当クラブの重点事業としまして、中学生を、ロータリアンの事業所の職場に招待し、一人、一人自らの進路を主体的に考え、選択し、就職の機会について学ばせる一日を主催し、青少年の進路設計に役立たせる。

公式訪問だより

●あまロータリークラブ



- 平成8年8月26日(月)
- 会長 光岡 朗
- 名鉄グランドホテル
- 幹事 黒野晃太郎
- 会員数 104名

8月26日、あまRCへ松本ガバナー、酒井分区代理、内田地区幹事が訪問されました。会長・幹事協議会、例会、クラブ協議会と緊張の内にも和やかに進行することが出来ました。特に例会では、本年度のRIテーマソングを全員起立して歌い、松本ガバナー共々当会員全員が気持を新たに致しました。あまRCでは本年度は特に青少年活動に重点を置いて運営を致すつもりです。各クラブのご指導をお願い致します。

●豊橋北ロータリークラブ

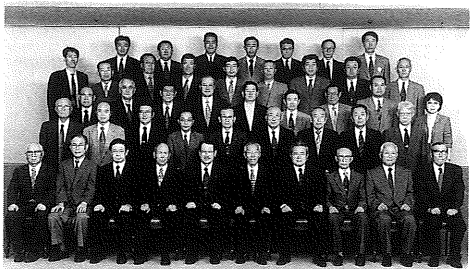


- 平成8年8月27日(火)
- 会長 おやいず 小柳津啓一郎
- 豊橋グランドホテル
- 幹事 大久保和弘
- 会員数 116名

当クラブは本年度創立40周年を迎え記念事業として創立以来継続されて来た二大事業のうち緑化事業を選びました。40年の集大成たる植樹として場所を新装成る豊橋駅前とし盛大な記念式典も行う予定です。

本年度のクラブテーマは“40年の歴史の確認と敬意、次代の展望と育成”でありテーマの前半を具現したものでもあります。

●岡崎ロータリークラブ



- 平成8年8月28日(水)
- 会長 太田賢太郎
- 名鉄岡崎ホテル
- 幹事 蜂須賀利雄
- 会員数 117名

“和やかにして風格のあるクラブ”の伝統を継承しつつ、次の方針で行動する。

- 1、RI会長賞への挑戦。
- 2、“普通のこと”を徹底して行う。
- 3、定款・細則を身近なものにする。
- 4、ロータリーの原点を再確認するためロータリー情報を強化する。
- 5、多数参加の親睦活動を行う。
- 6、会員増強に力を入れる。

●江南ロータリークラブ



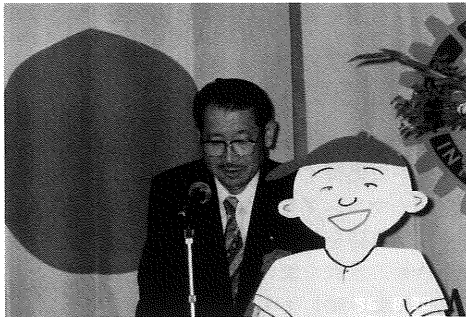
- 平成8年8月29日(木)
- 会長 高木 博
- 江南商工会館
- 幹事 伊藤英紀
- 会員数 71名

当クラブは、32年の歴史が育んだ特色と事業が多い。特色の最たることは、ロータリーを愛し情熱を傾ける会員を多く生んできたことである。1年任期の人事の中で、継続と新規の調和を求め、事業も歴史を刻んでいる。ローターアクトも17年目を迎え、今年度RI方針の青少年育成にそっているのが当クラブの誇りでもある。

9月8日(日)RAC会員と清掃活動(木曽川)

公式訪問だより

●尾張旭ロータリークラブ



- 平成8年8月30日(金)
- 会長 水野浩司
- 尾張旭商工会館
- 幹事 丹羽敏行
- 会員数 70名

尾張旭RCは、本年2月に創立25周年を祝うことができました。企業の代表者や医師ならびに大学教授など多種多様な有能な人材を有するバランスの良いクラブと自負しています。

本年度は、「和」をクラブひいては奉仕の原点とする会長方針のもと一致団結して楽しくロータリー活動に励んでいます。

なお、当クラブの誇りとするOFDY(尾張旭RC国際青少年育成基金)の実践をRI会長および松本ガバナーの提唱される目標として努力しています。

第2760地区ニュース・その他

「地区運営効率化委員会」 設置について

地区ロータリー財団、米山記念奨学会等年々事務量が増え、年度を越える仕事が多く、又引き継ぎが重要な活動については、固定事務所を置くとか、専従事務員を雇うような方向を考えないと、運営が困難になってきております。

そこで上記特別委員会を設置し、地区委員会が効率よく運営出来るよう研究することとなりました。

地区運営効率化委員会委員

田中 徹 (パストガバナー、米山記念奨学会委員会カウンセラー)

高沢 隆 (パストガバナー、ロータリー財団委員会カウンセラー)

石川 和昌 (直前ガバナー)

米田 春雄 (元米山記念奨学会委員会委員長、前カウンセラー)

星野 充 (元ロータリー財団委員会委員長、前カウンセラー)

林 光雄 (青少年交換(1)委員会委員長)

森 武保 (元地区幹事)

神野 紀郎 (前地区幹事)

内田 栄一 (地区幹事)

新ポールハリスフェロー 7月分

氏名	所属R.C.
伊藤 久彦	(豊橋北)
高村 敦夫	(東海)
加藤 文義	(あま)
渡辺 安正	(常滑)
鈴木 巖	(豊田西)
三浦 勝美	(岡崎南)
広村 尚文	(安城)
細井 英治	(安城)
堀尾 佳弘	(安城)
加藤 弘	(安城)
木村 不二夫	(安城)
成瀬 介宣	(安城)
小川 博行	(安城)
柴田 晃	(安城)
高村 公弥	(安城)
鳥居 勇夫	(安城)
猪村 正彦	(名古屋東)
飯島 正一	(蒲郡)
高畑 恒夫	(名古屋栄)
横山 弘	(尾西)

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

山内 孝様(瀬戸R.C.) 8月9日

大沼協一様(名古屋和合R.C.) 8月11日

谷口昌隆様(名古屋空港R.C.) 8月29日



地区大会R.I.会長代理 呉 在璟氏(ソウルRC)に決定

本年度、稲沢ロータリークラブのホストにより10月12日・13日にわたって開催される第2760地区年次大会に、ジアイR.I.会長代理としてソウルロータリークラブの呉在璟氏が来訪される事となりました。

〔略歴〕

1919年 6月2日生
1941年 日本立教大学経済学部経済学科卒業
1977年 大邱啓明大学から名誉文学博士学位を受ける。
1945～'48 米軍政庁 保健厚生部厚生施設局長
1956～'59 大韓民国公務室長
1961～'62 文化公務部長官

1969～'76 YMCA理事
1970～現在 韓国地域社会学校後援会理事長
1973～現在 財団法人言語教育理事長
1983～'85 東亜日報社社長

〔ロータリー歴〕

1960年 ソウルロータリークラブ入会
1966年 ソウルロータリークラブ会長
1975年 R.I.365地区ガバナー
1978年 R.I.365地区ガバナー
1980～'81 R.I.国際協議会グループリーダー
1982～'83 R.I.広報委員会委員長
1983～'85 R.I.理事
1985～'86 韓国ガバナー会議議長

第2760地区ニュース・その他

ご寄付ありがとうございます

ロータリー財団

名古屋中RC (30万円)
あまRC (30万円)
名古屋大須RC (20万円)

ポリオプラス活動支援資金

あまRC (10万円)

米山記念奨学会

名古屋大須RC (20万円)

とそれぞれご寄付いただきました。
ありがとうございます。

文庫通信

(第108号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも

承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

☆日本のロータリアンによる一般著書 その1 ☆

◎「幕末西洋文化と沼津兵學校」米山梅吉 1935年 162頁 [申込先 ロータリー文庫(コピー)]

◎「常識關門」米山梅吉 1937年 204頁
[申込先 ロータリー文庫(コピー)]

◎「現代人と職業」木本茂三郎 1958年 136頁
[申込先 ロータリー文庫(コピー)]

◎「米山梅吉選集」米山梅吉先生伝記刊行会編 1960年 2冊 [申込先 ロータリー文庫(コピー)]

◎「一生ヲ貴ク樂シク」星野行則 1961年 72頁
[申込先 ロータリー文庫(コピー)]

◎「心に刻まれた人びと」古垣鐵郎 1968年 301頁
[申込先 ロータリー文庫(コピー)]

◎「音楽医者放談」穴澤養一 1969年 259頁
[申込先 穴澤養一 TEL(0242)22-4024]

◎「茶の心」千 宗室 1971年 222頁
[申込先 ロータリー文庫(コピー)]

◎「青年に期待する」佐藤千壽 1971年 163頁
[申込先 ロータリー文庫(コピー)]

ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園2-6-3abc館7階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

インターアクトクラブ オーストラリア・シドニー研修報告

地区インターアクト(小)委員長 坂本 康信

日頃はインターアクトクラブの活動に、深いご理解と多大なご支援を賜り心より感謝を申し上げます。

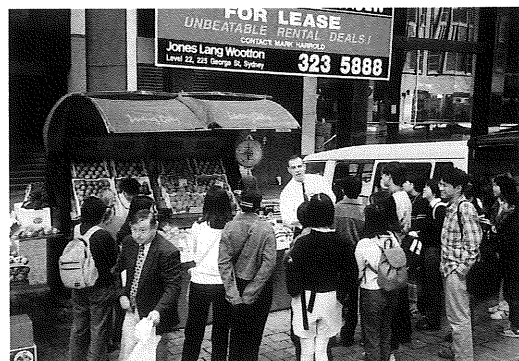
さて、今夏実施致しました第9回インターアクトクラブ海外研修派遣オーストラリア・シドニー研修のご報告を申し上げます。

今年の参加者は、40名（引率者…ロータリアン2名、顧問2名、インターアクター…男子3名、女子32名、ビデオ制作者1名）で、去る6月22日～23日、7月13日～14日の2回に亘り事前研修会を持って海外研修の目標、心構え、英会話学習(外国人講師)、オーストラリアの知識(研究発表)、ホームステイ、海外旅行の知識、歌・踊りの練習、講話(ロータリアン)、参加者の交流(親睦、チームワーク)等々を整え、7月21日地区インターアクト協議会での壮行会及び7月26日名古屋空港での出発式において、松本ガバナー(代理内田地区幹事)をはじめ、地区役員・委員、インターアクト会員の激励を受けて7月26日オーストラリア・シドニーへ向けて出発し、多くのかけがえのない体験を積んで8月4日参加者全員無事帰国致しました。

今年の海外研修は、過去8年間の実績のもとに今までの参加者の要望などを地区委員会で検討致し、ホームステイの期間を長くする(8泊)、現地での英会話研修、インターアクトクラブ並びにロータリークラブとの交流等を図るこ



英会話研修 於ACTH英語学校



学んだ英会話でショッピング 於果物屋

とを願い、種々検討の結果最適の場所としてオーストラリア・シドニーで実施致しました。

研修の内容は以下の如くであります。

7月27日早朝シドニー空港に到着、ACTH(英語学校)の男女の先生が出迎えて下さり一緒にボンダイ・ビーチ、市内観光(オペラハウス、ロックス等)を実施、早くも英語の世界にスムーズに突入し、午後ACTHにてオリエンテーション、夕方ホストファミリーと対面し、1～2名ずつ19軒の家庭へ。

生徒達は、毎日各家庭より自分達でバス、フェリー、電車を利用してダウンタウンのACTHまで通い、午前中は実用英会話の研修、午後は先生と町にでかけ、果物屋、フードショップ、銀行、郵便局等で学んだ英会話を活用。一人一人オーストラリア市民になり、生活をエンジョイし、英語にドブプリつかった事は今回研修の特



壮大なブルーマウンテンを見学



学校訪問、授業参加、中・高校生との交流
微でありました。

又スポーツアクティビティ(乗馬)、ブルーマウンテン・ワイルドライフパーク観光などオーストラリアのすばらしさにも触れました。

更に現地学校—100年余の歴史と伝統があるシドニーの有名校・カソリック系ミッションスクールSt. Aloysius' College(2コマ)、昼食会(バーベキューパーティ)、交歓会(サッカー、ソフトボール)等を通してオーストラリアの中・高校生との交流ができ、参加者一同最高に満足し、プログラムのハイライトでありました。

ホームステイ最後の日ACTHにホストファミリーを招いて感謝のティーパーティを開催—坂本地区委員長及び谷団長の挨拶、高校生高木君及び山田さんの挨拶、坂本地区委員長より各ホストに感謝記念品の贈呈、インターアクトメンバーによる花笠音頭、東京音頭等の踊り、更にロッカマイソウル、スキヤキソングの披露、Waltzing Matildaを全員で合唱、お世話になった先生へ感謝花束贈呈、荻本地区副委員長及び新原副団長の感謝の言葉等を通して、ホストファ



ホストファミリー感謝パーティ



於 St. Aloysius' College

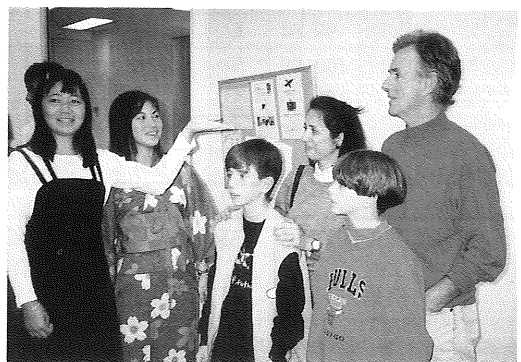
ミリーとの感動の交流を図ることが出来ました。

尚インターアクトクラブとロータリークラブとの交流は、検討を進めておりましたが、スケジュール及び相手側の事情により今年は実現出来ませんでした。調査等実施し近い将来実現可能であります。しかし今回は、それに代わるミッションスクール中・高校生との交流は大変すばらしい成果でありました。

短い期間ではありましたが、貴重な体験、感動が与えられ、生徒達全員日本へ帰りたくない、又将来必ずくる、英語に自信がついたの連発は、海外研修の成果の現れでもありました。

このような素晴らしい海外研修が出来ましたことは、松本ガバナーをはじめ地区役員・委員、スポンサーロータリークラブの皆様方、又各インターアクトクラブの顧問、会員皆様方のご理解とご協力・ご支援の賜物であり、ここに深甚なる感謝の意を申し上げます。

誠に有難うございました。



ホストファミリーの紹介

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'96年 7月1日	当 月	増 減					'96年 7月1日	当 月	増 減
尾 張 第 一 分 区	知 多	99.12	5	47	47		西 尾 張 分 区	あ ま	100.00	5	104	104	
	半 田	100.00	4	74	74			尾 西	97.77	5	63	63	
	半 田 南	100.00	5	68	68			一 宮	99.46	4	92	94	2
	東 知 多	100.00	3	62	66	4		一 宮 北	98.81	4	85	85	
	常 滑	98.91	4	70	70			稲 沢	99.06	5	65	65	
	東 海	98.36	5	61	61			西 春 日 井	100.00	5	61	62	1
	計	99.40	—	382	386	4		尾 張 中 央	100.00	5	50	50	
名 古 屋 第 一 分 区	名 古 屋	98.10	5	222	226	4	東 三 河 分 区	津 島	100.00	4	89	89	
	名 古 屋 南	99.10	5	121	121			一 宮 中 央	93.70	5	72	73	1
	名 古 屋 港	100.00	4	130	131	1		計	98.76	—	681	685	4
	名古屋瑞穂	100.00	4	104	104			渥 美	93.22	5	63	66	3
	名 古 屋 中	100.00	5	160	160			蒲 郡	95.69	4	78	79	1
	名 古 屋 西	99.27	4	143	144	1		奥 三 河	92.44	3	38	40	2
	名古屋大須	100.00	4	96	96			新 城	94.48	4	68	68	
	名古屋名南	98.60	5	84	86	2		田 原	100.00	4	73	73	
	名古屋名駅	97.62	5	102	102			豊 橋	98.96	4	132	132	
	名古屋東南	99.69	4	84	89	5		豊橋ゴールデン	100.00	4	84	84	
	名 古 屋 栄	98.07	5	83	83			豊 橋 北	100.00	5	116	119	3
	名古屋西南	99.52	4	52	52			豊 橋 南	98.73	4	68	68	
名 古 屋 第 一 分 区	計	99.16	—	1,381	1,394	13		豊 橋 東	100.00	5	32	32	
	名古屋千種	98.54	5	68	70	2	西 三 河 第 一 分 区	豊 川	95.94	5	82	82	
	名 古 屋 東	98.76	5	113	114	1		豊 川 宝 飯	90.77	4	68	69	1
	名 古 屋 北	99.31	4	115	119	4		田原パシフィック	96.35	5	76	76	
	名古屋名北	99.70	5	67	67			計	96.64	—	978	988	10
	名古屋名東	99.52	5	84	84			岡 崎	100.00	5	117	119	2
	名古屋守山	97.95	4	84	84			岡 崎 東	98.97	4	83	85	2
	名古屋昭和	99.17	5	72	73	1		岡 崎 城 南	99.74	5	76	77	1
	名古屋和合	100.00	5	110	111	1		岡 崎 南	99.52	4	113	114	1
	名古屋錦	98.64	5	60	59	—1		豊 田	99.36	4	98	97	—1
	計	99.07	—	773	781	8		豊 田 東	99.66	5	91	94	3
	犬 山	100.00	5	78	81	3		豊 田 西	99.80	5	105	105	
	岩 倉	92.68	5	41	41			豊 田 三 好	100.00	5	32	32	
東 尾 張 分 区	春 日 井	100.00	4	83	83		西 三 河 第 二 分 区	計	99.63	—	715	723	8
	小 牧	97.94	5	68	68			安 城	99.00	4	91	91	
	江 南	99.63	4	71	73	2		碧 南	99.51	5	83	84	1
	名古屋空港	99.69	5	65	66	1		一 色	100.00	4	52	52	
	尾 張 旭	99.64	4	70	70			刈 谷	100.00	5	92	92	
	瀬 戸	100.00	5	78	82	4		知 立	100.00	5	54	56	2
	瀬 戸 北	100.00	5	70	70			西 尾	95.29	5	76	77	1
	豊 山 城 北	97.96	5	60	60			西尾KIRARA	100.00	4	70	70	
東 尾 張 分 区	計	98.75	—	684	694	10		高 浜	99.62	5	54	55	1
	計							計	99.18	—	572	577	5
地域内クラブ数				75RC	'96. 7. 1 会員数		6,166名	増 加 会 員 数		64名			
					当 月 末 会 員 数		6,228名	減 少 会 員 数		2名			
					当 月 平 均 出 席 率		98.82%	差 引 純 増 会 員 数		62名			